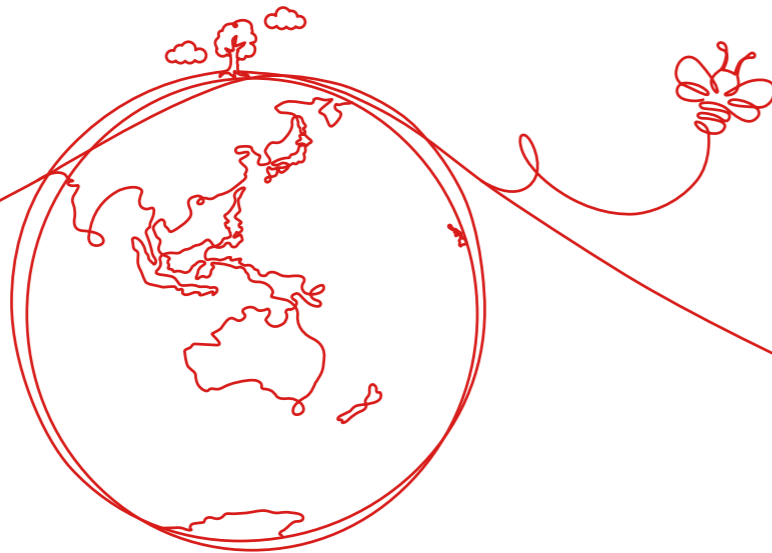


# アースグループ 経営理念

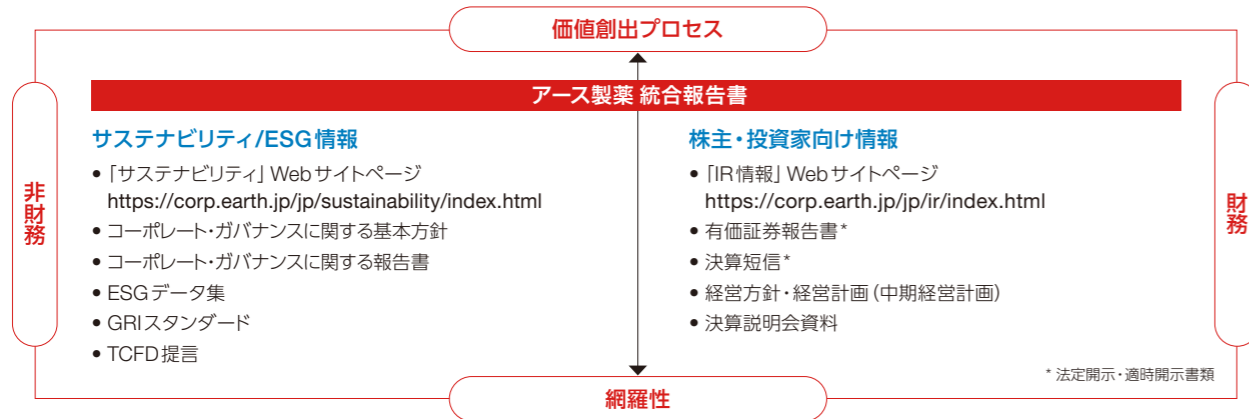
いのち  
生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。

We act to live in harmony with the Earth.

私たちの社名に掲げる「Earth(=地球)」には、人々の役に立つ商品の世界中に広めていきたいという先人の思いが込められています。私たちは、1892年の創業以来1世紀以上にわたり、人々の健康と快適な生活の実現に真摯に向き合い、高品質な商品を提供し続けることで、社会と共に着実な成長を遂げてきました。そして、これからも世界中のより多くの人々の暮らしに寄り添い、さらに豊かで快適な生活を実現できるよう貢献してまいります。



## 情報開示体系



対象期間 2023年度(2023年1月1日~2023年12月31日)  
\* 一部、同期間以降の活動内容を含みます。

対象組織 アース製薬株式会社および国内外のグループ会社  
\* ただし、一部の報告事項は、アース製薬単体について報告しています。

## 将来見通しに関する記述について

本報告書で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

\* 記載の数値は、桁数未満を切り捨てたものになります。このため、合計値が個々の数値の合計と一致しない場合があります。

\* 本レポートに記載されている製品名は、当社または提携会社の登録商標です。

\* 本レポートに記載されているコメント情報などは、適切に入手されたものです。

## 参考にしたガイドライン

- 国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」



## 目次

第1章 地球をキモチいい家にする	第5章 サステナビリティ実現のための戦略
2 At a Glance	38 多様な人材の活躍を支える職場の実現
4 お客様の声を活かして生まれたアースブランド	40 安心で快適な暮らしに貢献する製品・サービスの提供
6 地球と人に寄り添うアースの歴史	42 特集:日本発の革新的酸化制御技術「MA-Tシステム®」事業の推進で感染症トータルケアカンパニーへ
8 ステークホルダーエンゲージメント	44 気候変動への対応
第2章 快適を、創る	46 地球環境への配慮
10 社長メッセージ	48 持続可能な調達の推進
14 アース製薬の価値創造プロセス	第6章 サステナブル実現のための経営システム
16 アース製薬の価値創造プロセス解説	50 コーポレート・ガバナンス
第3章 サステナブルな経営戦略	55 社外取締役メッセージ
18 リスクと機会	56 リスクマネジメント
20 マテリアリティ	57 コンプライアンス
22 中期経営計画	58 役員一覧
28 財務戦略	第7章 データ
30 財務・非財務ハイライト	60 11カ年の主要財務・非財務データ
第4章 事業ポートフォリオ戦略	62 用語集/真正性表明
32 家庭用品事業	63 会社概要/株式情報
36 総合環境衛生事業	

## 編集方針

「アース製薬 統合報告書2024」は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、当社グループが創出する価値と、価値を創出し続けるための取り組みについてより一層ご理解いただくことを目的に制作しました。価値創造プロセスや事業、中期経営計画、マテリアリティへの取り組みなど、財務情報と非財務情報を一体的に報告することを主眼に置いて編集に当たっています。本報告書をもとに、ステークホルダーの皆様との対話を一層深めていければ幸いです。

## 社外からの評価

SOMPO サステナビリティインデックス  
SOMPOアセットマネジメント株式会社独自のインデックス、「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に採用



東洋経済CSR企業ランキング  
株式会社東洋経済新報社の「2023年版CSR企業ランキング」CSR評価において、「人材活用」、「環境」、「企業統治」、「社会性」でAAAを獲得、各項目で高評価を獲得



CDP  
国際的な非営利組織であるCDPが実施する気候変動の取り組みと透明性を評価する調査において、気候変動・フォレスト・水セキュリティの3セクターのうちの気候変動でA-(A マイナス)評価を獲得



FTSE Blossom Japan Index status  
環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたESG投資指数であり、ESGに関する様々な基準を満たした企業で構成



健康経営優良法人2024~ホワイト500~  
経済産業省と日本健康会議が共同で選ぶ「健康経営優良法人2024~ホワイト500~」に4年連続で認定



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index status  
GPIFのESG投資におけるパッシブ運用のベンチマークとして採用されている「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に採用

